

IPKNOWLEDGE 財務情報 (財務情報システム)

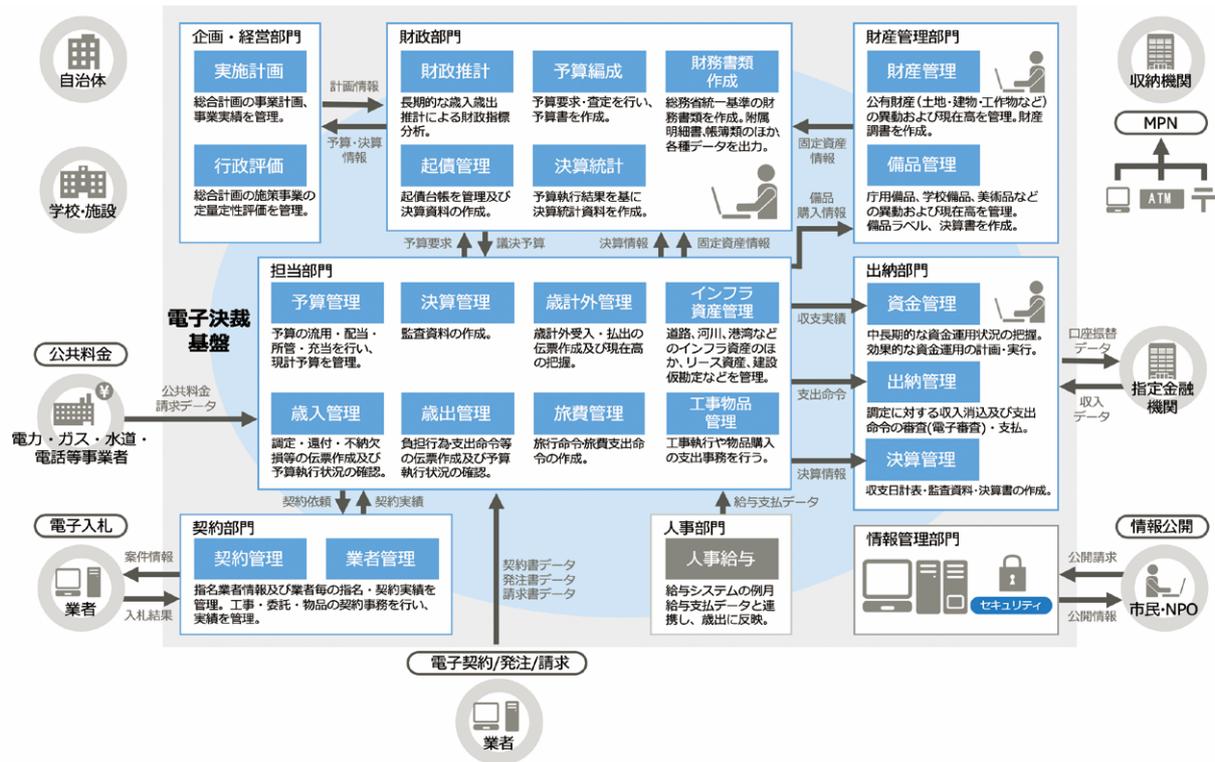
地方自治体における財務情報の見える化を実現し、
効率的かつ戦略的な自治体の財政経営を支援します。

財政の見える化を実現し、戦略的な自治体経営を支援します。

IPKNOWLEDGE 財務情報 V3 は、財務会計に行政経営支援などの業務モジュールを統合し、地方自治体における財務情報の統括的な管理をサポート。さらに、旅費管理、人事給与など IPKNOWLEDGE が提供する各ソリューションとの高度な連携により、効率的な財政運営を支援します。

IPKNOWLEDGE 財務情報 (財務情報システム) の概要

IPKNOWLEDGE 財務情報は、予算編成・予算執行・決算統計の業務に加え、契約管理、行政経営支援 (実施計画・行政評価)、財産管理、備品管理、地方公会計制度に対応した財務書類作成などの関連サブシステムも網羅した財務トータルシステムをご提供しています。



IPKNOWLEDGE 財務情報（財務情報システム）の機能一覧

- ・ 財政推計
- ・ 行政経営支援
- ・ 予算編成
- ・ 予算管理
- ・ 歳入管理
- ・ 歳出管理
- ・ 出納管理
- ・ 資金管理
- ・ 決算管理
- ・ 決算統計
- ・ 起債管理
- ・ 工事 / 物品管理
- ・ 契約管理
- ・ 業者管理
- ・ 財産管理
- ・ 備品管理
- ・ インフラ資産管理
- ・ 財務書類作成

IPKNOWLEDGE 財務情報（財務情報システム）の導入効果

【導入効果 1】

予算統制による健全な行政経営を実現

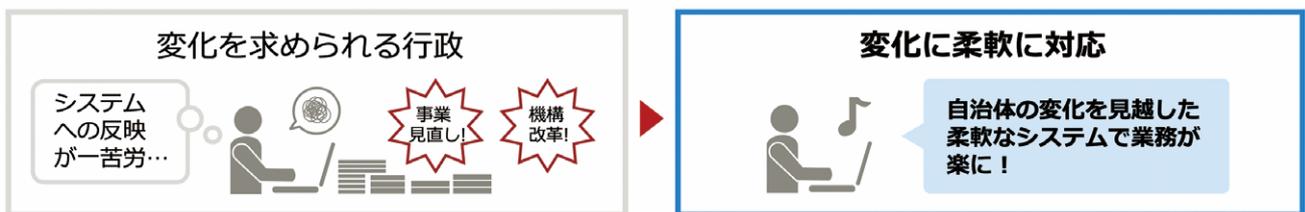
- ・ 近年の厳しい財政状況の中では、財政部門の統制下において、計画的に予算執行を行う必要があります。IPKNOWLEDGE では、計画と予算執行の妥当性チェックの実施や、余分な支出を防止することにより、健全な行政経営をサポートします。



【導入効果 2】

自治体運営の変化に柔軟に対応

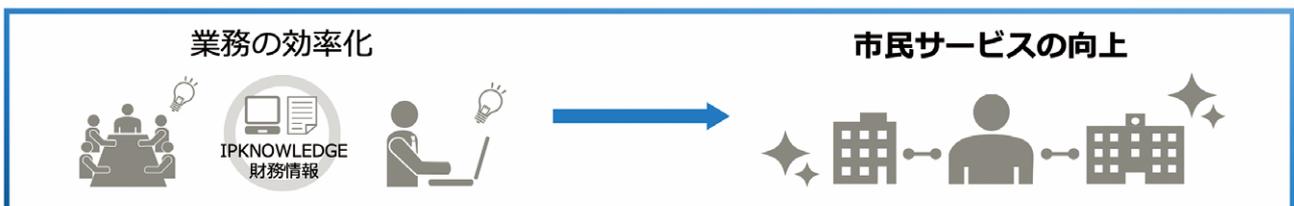
- ・ 自治体に求められる仕事が変わっていく中、毎年発生する機構改革や予算科目の見直しなどに柔軟に対応可能なシステムとなっており、システム運用コストを最小限に抑えることができます。



【導入効果 3】

様々な入力支援機能による事務効率化

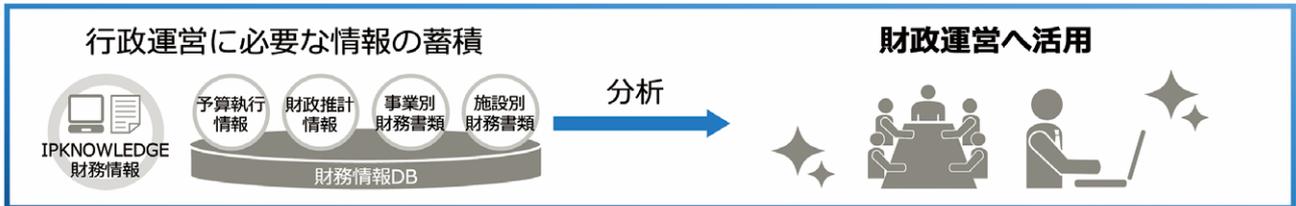
- ・ システムの操作性向上・機能の標準化・様々な入力支援機能により事務処理を効率化し、財務事務にかかる人的・時間的コストを削減します。
- ・ 削減した事務時間を、市民サービス向上に向けた執務時間に割り当てることができます。



【導入効果 4】

蓄積された財務情報を財政運営へ活用

- 行政の経営状況を可視化するため、財務会計システムに長期間蓄積される情報を的確に活用していくことが重要です。
- 予算執行情報、財政推計情報、事業別財務書類、施設別財務書類の分析による経営状況評価、将来にわたる財政力分析などを財政運営へ活用できます。



【導入効果 5】

電子決裁、電子取引連携による、財務の完全電子運用を実現

- 自治体財務手続きに特化した電子決裁基盤、電子取引連携サービス（電子契約 / 発注 / 請求連携）により、職員様の電子化運用を実現します。

※電子請求連携サービスについてはこちら (<https://docs.fujitsu/documents/000595/ipknowledge-dx-whitepaper-ja.pdf>) もご参照ください

お客様の声 (動画)

> 直方市様 導入事例



お客様の声 (記事)

全国で多くのお客様にご採用いただいております。ご利用いただいておりますお客様から頂戴しました声を是非、ご確認ください。

- | | |
|--------------|----------------------|
| > 鹿屋市様 導入事例 | > 朝霞市様 導入事例 |
| > 八尾市様 導入事例 | > 神奈川県様 導入事例 |
| > 直方市様 導入事例 | > 町田市様 導入事例 |
| > 福崎町様 導入事例 | > 東京たま広域資源循環組合様 導入事例 |
| > 苫小牧市様 導入事例 | > 下関市様 導入事例 |
| > 郡山市様 導入事例 | |

関連情報

- > 内部情報ソリューション - IPKNOWLEDGE (アイピーナレッジ) -

お問い合わせ先

富士通 Japan 株式会社

お客様総合センター 0120-835-554 ご利用時間 9時～12時、13時～17時30分(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)